

(資料52) 研究所関係新聞記事一覧

年月日	タイトル	新聞社名
2004.4.14	つくばの研究機関で施設一般公開開始まる 18日まで	読売
4.14	環境省、宇宙航空研究開発機構、国立環境研究所 21日にシンポジウム	日刊工業
4.15	JAXA 環境省 国立環境研究所 温室効果ガス観測技術衛星 利用方策検討へチーム 研究提案を集約	日刊工業
4.20	ロボット走行の低公害車に試乗 小池環境相が国立環境研視察	毎日
4.23	深層断面＝第2回地球観測サミット 25日、東京で開催 主導権争い思惑様々	日刊工業
4.24	神栖井戸水汚染 土壌からも高濃度ヒ素	東京
4.30	この人＝「脳とセックスの生物学」を日本語で出版したローワン・フーパーさん	東京
5.10	国立環境研究所公開シンポジウム「国立環境研究所の30年」	産経
5.19	JA広島市 全廃決定農薬使用奨励 組合員に「今年限り」地球よりも在庫減らし	毎日(大阪)
5.23	温暖化が氷河期招く? 北大西洋の変化が気候急変の引き金に 海洋循環に変化 気候乱す恐れも	日経
5.29	茨城・神栖町 日本軍が埋めた? 毒ガス謎の高濃度 井戸周辺「深すぎる」層で	読売
6.01	国立環境研究所 環境試料の冷凍保存施設 変化調べ、汚染究明も	日経産業新聞(日経テレコン21)
//	環境資料タイムカプセル棟 つくばに完成 絶滅前に凍結保存	読売
//	京都議定書年度内に温暖化対策新大綱 ガス削減議論足踏み 8審議会、調整がカギ 環境税早期導入で対立	朝日
//	国立環境研究所で完成 「タイムカプセル」 絶滅種の復元めざす	朝日
6.05	なぜなぞ科学＝紫外線量の予測方法は?	毎日
6.09	産業春秋＝ナノテクノロジー	日刊工業
6.10	環境省と環境研が22日ワークショップ 環境技術にナノテク適用	日刊工業
6.12	霞ヶ浦で実験 湖水浄化へ外来魚除去 植物プランクトン減らす荒療治	読売(夕)
6.12	よみうり寸評＝地球温暖化	読売(夕)
6.17	尾瀬物語(5)＝富栄養化 湖沼の水質ワースト44	朝日(夕)
6.13	どくしゃとつくる＝クワガタを育てる ケース一つに一つがい 外来種の交雑に注意	朝日(大阪)
6.15	国立環境研究所 東京・京都でシンポジウム開催	日刊工業
6.17	大気による発がんリスク 化学物質原因 大阪府ワースト1 鳥取の5倍以上	読売(大阪、夕)
6.17	国立環境研究所 大気中の化学物質の発がんリスク 大阪と鳥取5倍超す差	読売(夕)
6.23	育てる野生生物(3)＝復帰訓練 コウノトリの里を再び	朝日
6.24	NIE特集 不思議たんけん(3)＝私たちの星の行方 知恵絞りでCO2出さない生活へ	読売
7.03	挑む 研究者たちの素顔(47)＝最高時速370キロの電気自動車を開発した慶応大環境情報学部教授清水浩	毎日
7.05	国環研 水環境監視など実用化へ 化学物質による変異原性 遺伝子導入魚で検出	日刊工業
//	国立環境研究所 環境ホルモン 神経系にも悪影響か 実験のネズミ、異常行動	日経
//	環境省が調査 化学物質子どもは敏感 アレルギー原因にも	毎日
//	愛媛大調査 愛媛、九州の7人 使用禁止農薬母乳から検出 国内で未使用 輸入食品が飛散し降雨か	毎日(大阪、夕)
7.07	20大学・機関 大気汚染を共同観測 発生の仕組み研究	日経産業新聞(日経テレコン21)
7.09	医薬品 生態系影響も審査 体外排出後も生物毒性、厚労省が指針作り	読売(夕)
7.12	国環研がワークショップ 環境技術にナノテク活用 産業界のシーズ積極導入	日刊工業
7.27	首都圏 河川に医薬品成分 排泄後に下水経由 生態系への影響も	朝日
7.28	国立環境研究所など調査 テレビ内部のちり 高濃度の有害物質検出	日経
8.05	産学連携拠点＝国立環境研究所 産業界との連携推進	日経産業新聞(日経テレコン21)
8.08	1分間人間ドック＝紫外線、色白の人ほど注意	日経
8.10	猛暑と豪雨 世界各地で「異常気象」 地球温暖化と関連の指摘も	読売
8.18	宇宙開発委員会が了承 温暖化ガス観測衛星開発へ 2008年打ち上げ	日経産業新聞(日経テレコン21)
8.18	宇宙開発委員会 温室効果ガス観測技術衛星 来年度からの開発了承	日刊工業
8.20	サンゴ五話＝その5 英知を集めて再生を!	朝日
8.26	産業技術総合研究所と国立環境研究所 心の病の原因物質 特定手法を開発	日経産業新聞(日経テレコン21)
//	産業技術総合研究所と国立環境研究所 技術開発 心の病に関与 環境化学物質を特定	日刊工業
//	東京都・専門委 化学物質保健対策 31日に初の分科会	日刊工業
//	産業技術総合研究所など 環境ホルモン 脳神経の発達を阻害 動物実験で確認	毎日
9.20	熱中症 北国ほど「ご注意」 国立環境研究所が調査	茨城
9.06	国立環境研究所 環境ホルモンの影響 1000人分のデータ集積 高性能MRIで脳測定	日刊工業
9.06	日中調査 中国の東シナ海沿岸 大気汚染が悪化 汚染物質、日本流入も	日経
9.11	国立環境研 鶏から久連子鶏誕生へ 「多産の腹」借りる 病原体の除去も	朝日(夕)
9.14	レーザー＝国立環境研究所総合研究官の三森文行さん 長期戦の構え	日刊工業
9.15	気象研究所まとめ 温暖化で集中豪雨増える 今世紀末日本、危険性を予測	東京(夕)
9.16	集中豪雨、洪水の危険増加 温暖化で今世紀末の日本 気象研予測 月間降水量500ミリ超も 異常気象見据えた対策を	茨城
9.17	海洋研究開発機構と国立環境研究所の共同研究グループ 青森・下北半島沖の海底で大量のメタン流出か	日刊工業
//	新米から有機ヒ素 神栖の4農家 県、出荷自粛を要請「健康への影響少ない」	茨城
9.17	3日に1回は真夏日に 国立環境研と東大のチーム 今世紀末、温暖化で予測	茨城

年月日	タイトル	新聞社名
//	東大などのチーム、気候予測 真夏日 今世紀末には年100日以上に	朝日
//	東大など予測 2050年の日本 真夏日100日 東南アジア並み	読売
//	東大などスーパーコンピューターで予測 進む温暖化 2100年は真夏日4カ月	毎日
//	神栖町、コメからヒ素 茨城県が出荷自粛要請	毎日
//	国環研など予測 今世紀末、温暖化進むと 真夏日国内で年120日 降水量2割増「熱帯」に近く	日経
//	茨城・神栖町産 新米から有機ヒ素 4農家に出荷自粛要請	日経
//	東大など試算 「日本の夏」100年後今年超える猛暑に 梅雨も長期化	産経
//	東大気候システム研究センターと国立環境研究所などの研究チーム 世紀末温暖化予測 ムシムシ真夏日3カ月	東京
//	茨城・神栖町産米からヒ素 県「健康影響少ない」 4農家に出荷自粛要請	東京
//	東大などスーパーコンピューターで予測 70年後の地球平均気温 最悪4度C上昇	日刊工業
9.21	東電、省エネ支援事業強化 実態調査し設備効率化 国立環境研で受注	日経
9.21	大阪市で高濃度ダイオキシン 河口数キロ上流に沈殿 緩流と塩分影響？	朝日 (大阪)
9.22	春秋＝暑さ寒さも彼岸まで	日経
9.23	メコン川的环境監視プロジェクトに取り組む	茨城
9.23	産業春秋＝基準地価	日刊工業
9.26	猛暑に豪雨100年後は普通？ 今夏の日本列島温暖化を先取り	日経
9.27	論点＝国立環境研究所理事 西岡秀三 地球温暖化防止 科学的知見政策に生かせ	読売
9.30	台風・ハリケーン多発 気象異変日米覆う 海水温上昇が原因	日経
10.01	学芸サイト探訪＝国立環境研究所 ゴミや化学物質の問題解説	日経 (夕)
10.01	京都議定書発効見通し 排出量取引が活発化 商社が仲介CO2削減達成なお困難	読売
10.06	この人＝メコン川的环境監視プロジェクトに取り組む 渡辺信さん	東京
10.09	科学劇場記者席＝原油高騰 「オオカミが来た」が現実に	朝日 (夕)
10.14	エネルギーと環境の共存 (18)＝パート3 業界の実態 省エネ (中) 天然ガス使用拡大	日刊工業
10.16	国立環境研究所調査 組み換え菜種 鹿島港から千葉へ拡散 国道沿い、30キロまで	東京 (夕)
10.19	鉛汚染七話＝その3 水道水は大丈夫なのか	朝日
10.19	日本ファシリティ・ソリューション 空冷小型ターボヒートポンプ 千代田総合体育館に納入	日刊工業
10.22	社説＝台風ラッシュ 地球が怒っているのか	朝日
10.30	京都議定書来年2月発効へ 温暖化防止へ第一歩 ロシア EU 離脱の米国 日本経済界	読売
11.04	ナショナル・トラスト運動40年 失った「鎮守の森」として	産経 (大阪、夕)
11.07	千葉の国道沿いで確認 組み換えナタネ自生	日経
11.09	東京大学や国立環境研究所、海洋研究開発機構 70年以降の気温上昇解明 人間活動、大きく関与	日刊工業
11.11	エネルギーと環境の共存 (25)＝パート3 業界の実態 電力業の需要開拓 (下)	日刊工業
11.16	温暖化 住明正・東大教授に聞く 今夏の“異常”気象常態化 社会インフラ、通用せず	朝日
11.20	里地里山の生態系守ろう 茨城・土浦市でシンポジウム ため池の水抜き“実験”	読売
11.20	遺伝子組み換え菜種 在来種や野菜と交雑も 4キロ離れた花粉飛散	東京 (夕)
11.22	特定外来生物被害防止法 来春施行 課題は駆除方法	毎日
11.26	ヤマト 温浴施設の衛生管理 電解水でレジオネラ対策	日経産業新聞 (日経テレコン21)
11.28	ニュース入門＝温暖化ガスの排出権取引 排出量を権利化 温暖化に歯止め 企業が担い手に	日経
11.29	国立環境研究所などのグループまとめ 気温上昇は人間活動が影響	日経
12.08	地球のカルテ 温暖化研究最前線 (1)＝2100年の日本 5、10月でも真夏日	読売
12.17	ニュースの追跡 話題の発掘＝品川区脱ヒートアイランド 東京ウォール対策 大崎で新たな試み	東京
12.20	神栖ヒ素「安全対策は万全」 検討会メンバー 掘削調査現場を確認	茨城
//	茨城経済特集 先端産業の育成加速 ナノテク 中性子研究 次世代半導体 新エネルギー 医療・バイオ	日経
//	社説＝異常気象 無関係ではあり得ない	東京
12.21	エネルギー・価格攻防＝第2部 選別進む電力・ガス (下) 「官」も目覚める 「環境」・省エネ効果大	日経産業新聞 (日経テレコン21)
12.23	ディスポーザー野放し 処理槽なしタイプ 下水管詰まるトラブルも 自治体の規制ばらばら	朝日
12.26	ファインダー つくば不思議散歩 (6)＝命が眠るタイムカプセル	日経
12.29	地球のカルテ 温暖化研究最前線 (4)＝CO2排出量 気候安定化には半減必要 (おわり)	読売
2005.1.01	京都議定書発効へ 温暖化防止へ一歩 国益衝突さらに激化	朝日
1.01	ニュースで知る経済 2位 京都議定書発効 進む温暖化 対策は足踏み 温暖化の影響予測いろいろ	日経
1.50	温室効果ガス空から観測へ 旅客機に発の自動装置 今夏から、国立環境研など 温暖化予測、精密化に期待	茨城
1.15	有機ヒ素コンクリ塊発見 神栖 環境基準の3万3000倍	茨城
1.15	茨城 神栖町・毒ガス調査 ヒ素含むコンクリ 地下2メートルから発見	毎日
1.15	茨城・神栖町 汚染源？ 高濃度ヒ素含む塊発見 比較的最近に埋設か	東京
1.16	未来を選ぶ さらば浪費社会 (1)＝環境と資源迫る危機 「地球が2個あっても足りなくなる」	朝日
1.17	全国各地の港湾の周辺 自生相次ぐGM作物 荷揚げ時や搬送中こぼれた種子発芽	毎日
1.18	花粉情報のHP拡充 環境省	茨城
1.18	文科省研究所 ナノ新材料「毒性研究強化を」 分野横断型訴え	日経産業新聞 (日経テレコン21)
1.20	関西経済連合会と大阪大学 地球温暖化問題研究会立ち上げ	日刊工業

年月日	タイトル	新聞社名
1.21	コンクリ塊分析へ 神栖と素汚染、環境省調査 化合物自体を投棄か	茨城
1.24	外来生物規制指定で混乱 第1弾、36種どまりに オオクチバス見送り一転 基準あいまい	日経
1.27	条例で予防措置を 霞ヶ浦浄化技術研究会 研究者ら成果発表 つくば	茨城
1.28	細胞核内部の受容体関与 環境研 大阪大 環境ホルモン作用を解明	茨城
1.28	温暖化変わる日本 今世紀後半に 夏の気温4.2度上昇 真夏日は70日増加	読売
1.29	00年までの100年間 国内の気温1度の上昇	朝日(夕)
1.30	未来を選ぶ さらば浪費社会(3) = ゴミ資源のみ込む中国 減量・循環の方策課題	朝日
2.07	国連、初の評価報告書案 絶滅速度1000倍、人間が加速 森林40年で14%消失サンゴ礁、4分の3に	日経(夕)
2.07	国連が初の評価報告書案 早まる地球の生態系破壊 生物種絶滅速度、自然の1000倍に	東京(夕)
2.09	COP10会場での報告から 温暖化私のまちでも アルゼンチン フィジー ネパール インド	朝日
2.12	発効へ 京都議定書(3) = CO2削減技術頼み限界	読売
2.16	時時刻刻=京都議定書きょう発効 迫られるCO2削減 異常気象の危機感共有 環境税対立解けず	朝日
//	京都議定書きょう発効 温室効果の予測精度向上へ カギ握る森、海、雲	朝日
//	地球温暖化 豪雨件数100年後は倍 国立環境研究所など予測 最大で年間10日	毎日
//	記者の目=京都議定書きょう発効 地球を思いやる記念日に 一人一人が行動しよう	毎日
//	救えるか地球 京都議定書発効(上) = 脱・温暖化 生活見直すきっかけ期待	産経
//	堀場製作所 愛知万博会場でCO2濃度測定	日経産業新聞(日経テレコン21)
2.20	未来を選ぶ さらば浪費社会(6) = 「CO2削減2期目なお激論になる」 温暖化防止厚い壁	朝日
2.21	水辺の絶滅植物、湖底から復活 土砂に眠る種子「生きていた」 東大などグループ、霞ヶ浦で実験成功	東京
2.22	「植えません」農業者が宣言 遺伝子組み換え作物の国内栽培拒否	朝日
2.22	地球環境特集 資源の節約今、ここから エネルギー効率追求新たな技術も登場	日刊工業
2.23	遺伝子組み換え作物の栽培 農家もNO! 滋賀「拒否地域」看板で宣言	朝日(大阪)
2.24	地球温暖化 兆候(中) = 暖まる琵琶湖 人間の弱さ映す鏡	毎日(大阪)
2.25	日本環境教育フォーラムと損保ジャパン環境財団、損害保険ジャパン 異常気象リスクの公開講座開催	日経産業新聞(日経テレコン21)
3.07	褐色雲 日中韓などきょうから集中観測 森林火災や排ガス原因 日差し遮り環境に影響	毎日
3.07	国立環境研究所 低炭素社会に向け24日会議	日刊工業
3.12	究極のクリーンエネルギー 水素の実力は? 「きちんと使えば怖くない」	毎日
3.20	ファインダー つくば不思議散歩(17) = 光の矢、大気のごみが的	日経
3.24	NECがシステム構築 万博会場で環境観測	日刊工業
3.26	地球温暖化防止シンポジウム CO2削減待ったなし	読売
3.27	今さら聞けない=紫外線 ABC3種類、最もお肌に怖いのはB	朝日
3.30	ナノテクに危険性は? 毒性や環境影響、技術独占... 研究者が先手を打ち議論	朝日